
夢日記

れあん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢日記

【Zマーク】

Z8287X

【作者名】

れあん

【あらすじ】

私は見た夢を日記日記としてつけています。

今回の夢は、リストラされたある男【僕】と、彼を取り巻く同僚、女性とのやり取りをまとめた2話完結短編ストーリーです。どうぞお楽しみください。

* この作品は以前GREENに掲載したもの、手直ししたもので
す。

編集長（前書き）

主人公、いきなりリストラ！…さてどうなる？

（僕）

僕はしがないサラリーマン。夢は出版関係の仕事で独立。趣味はpixiv。

ある田舎で書類に落書きをして、消そうとしても消えなかつた。会社のPCで昼休みにpixivをしてるのもバレた。

そして、僕はリストラにあつた。

やけになつてた僕は、アニメ関係の雑誌を読み漁つた僕は起業し、編集長になつた。

（同僚）

二人の同僚がやつて來た。一人は男、もう一人は若い〇一風の女だ。

彼女には編集の能力に長けていた。

彼女は来る度に僕の仕事を手伝い雑談をしていった。

ある日彼女の手をまじまじ見ることがあつた。

カッターでできた切傷や、トーンの欠片が指先に付いていた。

問いただすと彼女は、夜な夜な漫画を描いていたのだそうだ。彼女につちの会社へ原稿を持ち込ませると中々の出来だった。

「ソノクールに出してみないか？」

彼女も了承した。

そして、度々うちに出入りするようになつていった。

「彼女」

最近ひょんなことから昔の同僚の女に会つた。
僕も彼女も気があつたのだが、言えずじまいに付き合つてなかつた。

「久しぶりね、あの若い子彼女？」

「違つよ、期待のホープさ」

「そう」

彼女と喫茶店でコーヒーを飲む。

「さよなら さん」

「ああ」

雨の中、赤い傘を差し、彼女は街の中へ消えていった。

編集長（後書き）

ついでまあ。2話完結です。お楽しみに（^__^）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8287x/>

夢日記

2011年11月11日04時17分発行